



「晴れの日に羽ばたく96の未来」

3月19日（木）、96人の子どもたちが秋津小学校を巣立っていきました。
1年生の入学式から卒業式まで、子どもたちが学校に通った日は、延べ1158日になります。
6年前を振り返ると、当時はコロナ禍の真っただ中で、全国の学校が休校を余儀なくされました。本校でも、入学予定だった現在の卒業生は、4月に行われるはずだった入学式を6月まで待たなければなりませんでした。その後も、分散登校やオンライン授業など、これまで経験したことのない日々が続き、学校の在り方そのものを考えさせられたことを思い出します。
それから6年。子どもたちは心身ともに大きく成長し、無事に卒業の日を迎えました。
卒業式前日、6年生の修了式で私は次のように話しました。

「人生の少し先を歩いてきた者として、皆さんに伝えたいことがあります。

それは、「これから迎える3年間は、後から振り返ったときに、本当に大切な時間になる」ということです。

私自身を振り返ってみても、この時期に出会った友だち、夢中になったこと、悩みながら自分で決断した経験が、今の自分を支える大きな力になっています。

だからこそ、これから進む時間の中で、「自分で考え、自分で判断し、生き抜く力」をじっくりと育ててほしいと思います。

皆さんは、1158日の歩みの中で多くの経験と知識を身につけ、大きな自信を得てきました。これからの3年間でそれをどう伸ばしていくか——それはみなさん自身が選び、つくっていく時間になります。今年度、私がみなさんに伝えてきたテーマを思い出してください。

「夢や希望をもって、明日を迎えよう」

遠い未来に向かって「こんな自分になりたい」という大きな夢を抱くのもよいでしょう。また、「明日はこれを頑張ってみよう」「誰かを笑顔にしてみよう」という小さな希望を持つのも素晴らしいことです。

日々の学習や習い事、趣味、友だちや家族との関わりの中で、ワクワクする気持ちを忘れず、毎日歩んでいってほしいと思います。

1158日の歩みが、みなさんに揺るぎない自信を与えてくれました。

どうかその自信を胸に、堂々と、晴れやかな気持ちで卒業の日を迎えてください。」

今日の卒業式では、その言葉どおり、子どもたちは胸を張って卒業証書を受け取り、力強く「旅立ちの言葉」を述べ、晴れやかな笑顔を見せてくれました。退場の際には、保護者席を囲み、

「これまでありがとうございました。これからもよろしくお願いします。大好きです!!」

と、自分たちの言葉で感謝を伝える姿が見られました。とても素晴らしい光景でした。

5年生の「みなさんは輝いていました！とってもカッコよかったです!! 私たちのヒーローです!!」という送る言葉に、会場にいた全員が同じ思いだったことと思います。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

新たな道でのご活躍を、心より応援しています。

